

## 令和6年度 第2回 野洲市地域公共交通会議 議事要旨

|     |                         |
|-----|-------------------------|
| 日 時 | 令和6年8月2日(金) 14:00~14:47 |
| 場 所 | 野洲市役所本館3階 第1委員会室        |

- 出席委員：井上会長、福島副会長、田中英樹委員、清水委員、今西委員、北村委員、田中暢之委員、池田委員、辰野委員、中村委員、野村委員、松尾委員、山田氏（山下委員代理）、田中郁代委員、永井委員、高田氏（井出委員代理）、辻村氏（井狩委員代理）、中塚委員
- 欠席委員：岩井委員、戸倉委員、条委員、山路委員、布施委員、岡崎委員
- 事務局：市民部 川崎次長兼課長、協働推進課 山田、高齢福祉課 丹沢主査

### ○会議結果

#### 議事

- (1) 令和6年度地域内フィーダー系統確保維持計画変更について

→承認

- (2) 野洲市コミュニティバス再編にかかるアンケート実施について

→承認

#### その他

- (1) 服部線、小浜線、八幡村田線の再編について

→報告

- (2) 滋賀地域交通計画策定にかかるワークショップの開催について

→報告

## 1. 開会

## 2. 挨拶

市民部長：本日は委員の皆様には暑い中、ご多忙の中、会議の方にご出席いただき誠にありがとうございます。委員の皆様のお立場で、平素から野洲市の地域の公共交通の維持発展にそれぞれご支援ご協力いただきまして誠に感謝します。本日の議題は、議事が2点、その他2点を挙げさせていただきます。本日は限られた時間ではありますが、有意義な会議となりますようお願いいたしまして、簡単ではございますが、開会の挨拶とさせていただきます。

会長：全国的にバス減便廃止が始まっております。今夏休みでダイヤに余裕があり何とかかなりそうですが、秋には通常に戻りますとさらに深刻になっていきます。全国で乗務員が不足している中で、減便されるのはもうやむを得ないことだと思います。その公共交通なくなった後に、地域がどうやって支えていくかがこれから重要になりますので、必要とされるのであれば、バスというものに固執しないで移動できる手段って何だろうということも考えながらいろいろ検討できればと思います。今日はよろしく願いいたします。

## 3. 議事

### (1) 令和6年度地域内フィーダー系統確保維持計画変更について

事務局：資料1により説明

会長：質問、意見はあるか。本議事は、承認いただけるか。

全員：異議なしの声。

会長：本議事は承認とする。微修正等があれば、会長と事務局で対応することとしてよいか。

全員：異議なしの声。

会長：そのように進める。

## **(2) 野洲市コミュニティバス再編にかかるアンケート実施について**

事務局：資料2により説明

会長：質問、意見はあるか。

委員：問5の設問の乗換なし等のアンケートは、記入者の住所は記名か、無記名なのか。

事務局：無記名で考えている。

委員：無記名で設問に回答しても、バスのルートを検討する際に、参考にならないのでは。どこの住所の方が乗り換えなしで行きたいのか、乗り換えでもいいとわかるようにしておいた方がいいと思うが。

事務局：項目を増やして対応したい。

委員：住所は個人情報になるので、一定の地域を記載して、乗られる方がどの路線かある程度わかるようにしたらどうか。

事務局：地域とコースの方を項目に追記したい。

会長：問4でコースの設問があるので、ご自宅の最寄りのバス停の設問が良いと思う。

副会長：このアンケートでコミュニティバスの利用をしたことのない方にもお聞きをするが、そういう方々にとってコミュニティバスが必要なのか不要なのか、どう思っているのか聞いてもよいのでは。コミュニティバスは必要なのに利用しないのは、何故なのか。

問7のコミュニティバスの運行に利用料金以外に税で年間6,600万円を使用していると記載あるが、要は利用していない方の税金もここに使用されている点について、是非どう感じられるか確認いただきたい。県が交通税を検討している観点からかなり興味がある。

事務局：イメージはわかるが、アンケートにどう明記するか、検討させていただきたい。

委員：今後コミュニティバスをどうすべきかも含めて聞かれた方がいいのでは。今回のコミュニティバスの再編は、市立野洲病院の開院に関わる再編だけなのか。他の地域の再編はどう考えているのか。

事務局：バスについては公共交通全体をどうあるべきか常に考えている。どうあれば効率的に提供していけるのか、市立野洲病院に関わる再編でもあるが、コミュニティバスの全体的な再編も検討している。

会長：このアンケートは、バス車内で利用者の方に何らかの手段で配布し、回収するという理解でよかったか。

アンケートはコースごとに集計できるので問題はないと考える。

問7に加え、利用しない方にも税金を使うことの是非は、聞いてほしい。

「やっぱり利用しないが、困っている人がいるから、バスに税金を使ってでも残した方がいいよ。」という意見もあるだろう。

アンケートには、男女と年代の確認がないと、どの世代の人達がどう思っているかが見えてこない。実際に利用者は高齢の女性が多いのは分かるが、若年層、生産年齢人口と高齢者では、税金の使用の是非は変わってくると思う。

事務局：皆様のご意見を整理して修正する。

会長：質問、意見はあるか。このアンケート内容は今後の会議で修正後、審議いただくが、このアンケートを実施することについてご異議はないか。

全員：異議なしの声。

会長：本議事は承認とする。アンケートの実施時期は決定次第報告をいただきたい。

#### **4. その他**

##### **(1) 服部線、小浜線、八幡村田線の再編について**

委員：資料3、4により説明

会長：質問、意見はあるか。

他市と比べても、早めに詳細なデータを示していただいている。非常に誠意を持って今回の減便にあたられているというのはご理解いただけると幸いである。

利用者数が、服部線の守山駅発第1便ぐらいが10人を超えており、それ以外は10人以内である。ということは、車両はハイエース運行で充分だろう。運行形態の議論が必要な利用者数に対し、大型バスで運行している。

貸切バスをこれだけ断わっているデータがあるが、会社的には貸切を受けていただいた方が、乗務員の待遇改善に繋がる。貸し切りを断っている状況下で、今運行しているが、本来であればその貸切の機会損失分をみんなで負担すべき話である。

今、乗務員が21人も足りないということは、乗務員の残業、休日出勤の常態化が予測される。ますます乗務員の成り手がなくなるということも共有いただきたい。

減便となると本当に困ることもよくわかるが、この利用者数では、別の方法で運行するのも可能である。

改正の告知の際に、他の手段で代替できることも考えていただきたい。

##### **(2) 滋賀地域交通計画策定にかかるワークショップの開催について**

委員：資料5により説明

会長：質問、意見はあるか。

参考までに県が地域公共交通計画を策定される際に、多くの地域でワークショップされる事はあまり聞いたことがない。それだけ滋賀県は気合いを入れて今回作られている。自分も行けなくても、周りの高校生とかに、参加をお勧めされるといい。高校生自身も社会参加が勧められている。私も先月、但馬の地域でワークショップを行ったが、参加した高校生が素直に想いを述べてくれとても良かった。

##### **○「つぎとまります」のチラシについて**

会長：京都を舞台とし、運転手が主人公で、全国的なバスの課題に対する一つの提案が映画となった。映画「つぎとまります」の試写会が7月31日に無事終わった。

70分の映画で、小学生も見応えがあったようだ。京都シネマで9月13日から26日までの間、上映されるので紹介する。

##### **○「近江鉄道電車」のイベントについて**

会長：今、近江鉄道の電車で、子ども向けのフリーきっぷ「夏休みこども10円1デイパス」が9月1日まで小学生以下で、10円で乗り放題を行っている。お弁当と水筒持参で、子供は10円で1日遊べるので広めていただきたい。

会長：他にあるか。予定の議事はこれで終了である。議事進行を事務局に返す。

#### **5. 閉会**

事務局：慎重審議に感謝する。本日の会議を終了する。

以上